



2018年11月6日  
東日本旅客鉄道株式会社  
JR東日本スタートアップ株式会社

～JR東日本スタートアッププログラム 2018 の採択企業について～

## 23 件の提案を採択、発表会で“スタートアップ大賞”を決定します！

- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR 東日本」）と JR 東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田裕）は、ベンチャー企業と協業し新たなビジネス・サービスを実現する「JR 東日本スタートアッププログラム 2018」を進めてきました。
- 2018 年 4 月から募集を開始し、当社グループと協業でテストマーケティングを行う「アクセラレーションコース」、事業構想の具体化を支援する「インキュベーションコース」の 2 コースで合計 182 件の提案をいただきました。
- 審査の結果、「アクセラレーションコース」18 件（海外からの応募 2 件を含む）、「インキュベーションコース」5 件、合計 23 件の提案を採択しました。
- 採択した提案及び協業内容の発表会を 2018 年 11 月 29 日（木）に開催し、優れた提案に対して総合グランプリの「スタートアップ大賞」、コース別「最優秀賞」、全提案の中から「優秀賞」を決定します。「アクセラレーションコース」の採択企業は、順次テストマーケティングを行っていきます。

### 1. 「JR 東日本スタートアッププログラム」とは

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017 年に初めて開催し、2 回目の今回は新たに「地域」「海外」というテーマを追加。「アクセラレーションコース」、「インキュベーションコース」の 2 コースで、地域資源を活用した協業プランや、海外のベンチャー企業が日本に進出する足掛かりとなるような協業プランの募集をしました。

### 2. 「アクセラレーションコース」の採択企業

「アクセラレーションコース」は、既に自社の製品・サービスまたはプロトタイプを有し、概ね起業 10 年以内の企業を対象として、年度内にテストマーケティングを実施することを目指すコースです。5 月 31 日（木）までの応募期間中に 111 件の提案をいただきました。その後、書類審査とプレゼンによる審査を経て、協業内容を検討してきました。その結果、「地域」「海外」テーマの提案を含む 18 社を採択し、年度内にテストマーケティングを行います。

#### 【採択企業一覧】

アドアジア ホールディングス AdAsia Holdings Pte. Ltd. <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">海外</span>	株式会社エアークローゼット	株式会社エイシング
エネフォレスト株式会社	株式会社Origami <span style="background-color: #70AD47; color: white; padding: 2px;">地域</span>	オリジン ワイヤレス ジャパン Origin Wireless Japan株式会社
株式会社CAMPFIRE キャンプファイヤー	クリップライン ClipLine株式会社	株式会社Showcase Gig ショーケース ギグ
株式会社TBM ティビーエム	トリプラ tripla株式会社	株式会社バズヴィル
株式会社はなはな	ピコセラ PicoCELA株式会社 <span style="background-color: #70AD47; color: white; padding: 2px;">地域</span>	株式会社ファームステーション <span style="background-color: #70AD47; color: white; padding: 2px;">地域</span>
株式会社ポケットチェンジ	メトロエンジン株式会社	モーションロフト Motionloft, Inc. <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">海外</span>

地域 ……青森を実証実験のフィールドとした協業プラン

海外 ……北米、アジアをフィールドとした新事業や、海外のベンチャー企業の日本進出への足掛かりとなる協業プラン

※詳細については別紙をご覧ください。

### 3. 「インキュベーションコース」の採択企業

「インキュベーションコース」はこれから起業または起業後間もない方を対象として、JR 東日本グループにおける事業アイデアの採用や当社グループの支援のもと事業を具体化することを目指すコースです。

5月31日（木）までの応募期間中に71件の提案をいただき、書類審査を経て5提案を採択しました。採択された方々とは、今後、JR 東日本、JR 東日本スタートアップ株式会社およびグループ会社等とともに、提案内容への支援や事業の具体化に向けた検討を行ってまいります。

#### 【採択企業一覧】

株式会社ANSeeN <sup>アンシーン</sup>	Ant's tears <sup>アント ティアーズ</sup>	株式会社SIRC <sup>サーク</sup>
学生団体TOBE <sup>トゥービー</sup>	富士の海老株式会社	

※詳細については別紙をご覧ください。

### 4. 発表会について

審査により採択された「アクセラレーションコース」18件、「インキュベーションコース」5件、合計23件の提案の中から、社外審査員を交えてスタートアップ大賞、最優秀賞、優秀賞を決定します。なお、受賞企業および受賞者につきましては、後日、HP(<https://www.jreast.co.jp/jrestart/>)にてお知らせします。

#### (1) 開催日

2018年11月29日（木）

#### (2) 審査員

学習院大学	国際社会科学部 教授	伊藤 元重氏
Globis Capital Partners	Managing Partner	仮屋 聡一氏
株式会社コラボラボ	代表取締役	横田 響子氏
守屋実事務所	代表	守屋 実氏
東日本旅客鉄道株式会社	常務取締役事業創造本部長	新井 健一郎
	常務取締役総合企画本部長	喜勢 陽一



**伊藤 元重**  
東京大学名誉教授  
学習院大学国際社会科学部 教授

専門は国際経済学。ビジネスの現場を歩き、生きた経済を理論的観点で踏まえて鋭く解き明かすウォーキング・エコノミストとして知られる。復興推進委員会委員長や経済財政諮問会議議員等数々の要職に従事。



**仮屋 聡一**  
Globis Capital Partners  
Managing Partner

グロービス・キャピタル・パートナーズでは世界各国の機関投資家より約500億円の資金を預かり、日本における有望ベンチャー企業へ、成長のために必要となる「ヒト（人材）」「カネ（資金）」「チエ（経営ノウハウ）」の総合的な支援を行っている。



**横田 響子**  
株式会社コラボラボ 代表取締役

1,900社を超える女性社長コミュニティをサポートしながら女性社長を紹介する「女性社長.net」、女性社長300名が集結するイベント「J300」を企画運営。大手企業を中心とした新規事業の立ち上げ、販促支援など多数プロジェクトを運営。



**守屋 実**  
守屋実事務所 代表

新規事業立ち上げのプロフェッショナル。株式会社ミスミを経て、株式会社エムアウトの創業に参画、2010年、守屋実事務所を設立、ラクスル株式会社、ケアプロ株式会社の立上げに参画、副社長を歴任後、プティックス株式会社、株式会社セルムなどの経営に参画する。

## 5. STARTUP\_STATIONの展開について

「アクセラレーションコース」採択企業との協業プランのご紹介と、一部の協業プランのデモンストレーションを目的として、以下のとおり STARTUP\_STATION を展開します。

### (1) 開催日時

2018年12月3日(月)～2018年12月9日(日) 各日 11:00～18:00

※12月3日のみ 14:00 から

### (2) 場所

STARTUP\_STATION (大宮駅西口イベントスペース)

### (3) 展開内容

- ① アドアジア ホールディングス AdAsia Holdings Pte. Ltd.のダイナミック DOOH (屋外デジタル広告) の検証
- ② 株式会社エアーローゼットの IoT を活用した無人パーソナルスタイリング体験ブース
- ③ 株式会社 ショーケース ギグ Showcase Gigのスマートフォンアプリとキオスク端末を利用した無人オーダーカフェ体験ブース
- ④ 株式会社 ティビーエム TBMの再生可能素材「ライメックス LIMEX」傘の展示
- ⑤ メトロエンジン株式会社の AI を活用した年末年始の新幹線混雑予想の表示 (デジタルサイネージ)
- ⑥ モーションロフト Motionloft, Inc.の AI カメラを活用した流動調査と広告媒体の認知率調査
- ⑦ 「アクセラレーションコース」18社の協業プラン紹介 (デジタルサイネージ)

## JR 東日本スタートアップ株式会社とは

JR 東日本スタートアップ株式会社は、JR 東日本グループとベンチャー企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地： 東京都渋谷区 (東日本旅客鉄道株式会社本社内)

代表者： 代表取締役社長 柴田 裕

株主： 東日本旅客鉄道株式会社 (100%)

設立日： 2018年2月20日

出資枠： 50億円

連絡先： E-mail [info@jrestartup.co.jp](mailto:info@jrestartup.co.jp)


ホームページ <http://www.jrestartup.co.jp>




JR East Start UP Co., Ltd.

あなたの夢を未来へつなぐ  
「明日」創造ステーション


- (1) アドアジア ホールディングス  
AdAsia Holdings Pte. Ltd. (CEO : Kosuke Sogo)

	海外	<b>「デジタルサイネージを活用したダイナミック DOOH の検証」</b>
		デジタルサイネージを活用して、ロケーションやターゲットにあわせて最適化した情報を配信する広告手法を検証し、広告価値の最大化を目指します。
		実施箇所：STARTUP_STATION
		実施期間：2018年12月3日～未定


- (2) 株式会社エアークローゼット (代表取締役社長 兼 CEO : 天沼 聡)

		<b>「無人パーソナルスタイリング体験」</b>
		スマートミラーを通して、プロのスタイリストとお客さまとが遠隔でつながる新感覚の無人パーソナルスタイリング体験を提供します。
		実施箇所：STARTUP_STATION 等
		実施期間：2018年12月3日～未定


- (3) 株式会社エイシング (代表取締役社長：出澤 純一)

		<b>「AI による設備・機械の新たな運用方法の実現」</b>
		ブレーキの予兆検知・消融雪機の最適稼働を目的に、機械学習 (AI) による実証実験を行うことで、今後の鉄道事業における AI 活用の発展を目指します。
		実施箇所：東京総合車両センター、新潟機械技術センター
		実施期間：2018年12月1日～2019年3月31日


- (4) エネフォレスト株式会社 (代表取締役：木原 寿彦)

		<b>「紫外線照射による駅設備などの殺菌・消臭」</b>
		エネフォレスト社が開発した紫外線殺菌照射装置を使用し、お客さまがご利用になる駅設備などの空気環境改善効果を検証します。
		実施箇所：大宮駅、南越谷駅
		実施期間：2018年12月上旬～2019年2月下旬


- (5) オリガミ株式会社 (代表取締役社長：康井 義貴)

	地域	<b>「青森におけるインバウンドのお客さまへの QR 決済利用促進」</b>
		青森の地域・行政と連携し、インバウンドのお客さまへの QR コード決済を導入。消費行動や観光動向についてデータ検証を行います。また、国内旅行者に対してもキャッシュレスな購買体験を提供し、地域観光の促進を図ります。
		※「QR コード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です
		実施箇所：青森市 (JR 東日本グループ施設含む)
		実施期間：2018年12月1日～2019年3月31日


オリジン ワイヤレス ジャパン  
(6) Origin Wireless Japan株式会社 (代表取締役：丸茂 正人)

 Origin Wireless A wireless AI™ company	<b>「カメラレス・センサーレスの侵入監視で安心安全な工事の実現」</b> Wi-Fi センサーによる侵入監視システムを活用して、工事現場などにおいて、安価なコストで安全性向上を図ります。また、Wi-Fi 屋内位置測位システムにより、工事現場での作業員などの位置を把握し、安全管理に役立てます。
	実施箇所：新宿駅 等
	実施期間：2018年12月1日～2019年1月31日


キャンブファイヤー  
(7) 株式会社CAMPFIRE (代表取締役社長：家入 一真)

 CAMPFIRE	<b>「クラウドファンディング活用による地域商品開発と無人駅の活用」</b> クラウドファンディングのプラットフォームを活用し、地域の魅力を生かした商品や無人駅活用に関するアイデア・資金を募り、地域に埋もれていたアイデアとJR 東日本のリソースを結びつけて、新たな価値を発信します。
	実施箇所：未定
	実施期間：2018年12月上旬～未定


クリップライン  
(8) ClipLine株式会社 (代表取締役：高橋 勇人)

 ClipLine	<b>「動画 OJT サービスを活用したグローバルを含めた遠隔地技術者育成」</b> ClipLine 社の保有する技術により、鉄道車両メンテナンス作業における技術者育成支援への導入に関する検証を行い、グローバルを含めた遠隔地への技術教育を目指します。
	実施箇所：大宮総合車両センター (予定)
	実施期間：2018年12月上旬～2019年3月上旬


ショーケース ギグ  
(9) 株式会社Showcase Gig (代表取締役：新田 剛史)

 SHOWCASE GIG	<b>「スマートフォンとキオスク端末を利用した無人オーダーカフェ」</b> Suica 対応の商品注文端末により無人オーダーカフェのデモンストレーションを行うとともに、スマートフォンアプリによる商品事前注文サービスを導入し、キャッシュレスな商品受け取りの実現と、オペレーション軽減による店舗省人化を目指します。
	実施箇所：STARTUP_STATION、ほんのり屋、ベッカーズ、駅弁当売店 等
	実施期間：2018年12月3日～未定 ※無人オーダーカフェは12月9日まで


ティビーエム  
(10) 株式会社TBM (代表取締役社長：山崎 敦義)

 LIMEX	<b>「再生可能素材『LIMEX』傘を活用したエキナカ傘シェアリング事業」</b> 従来のビニール傘の代替品として石灰石を主原料とする再生可能素材である「LIMEX」を使用した傘のプロトタイプを製造します。布地部分の回収・再生サイクルにシェアリングモデルを組み合わせることにより、「製造」・「利用」の両場面での省資源化を追求します。
	実施箇所：STARTUP_STATION、大宮駅 等 (予定)
	実施期間：2018年12月3日～2018年12月9日 ※傘展示のみ。シェアリング実施時期は2019年1月 (予定)。


(11) トリフラ tripla株式会社 (代表取締役: 高橋 和久、鳥生 格)

	<b>「AI チャットボットを活用した案内・予約業務」</b>
	AI チャットボットを活用し、訪日外国人に向けたホテル・駅・レンタカーの案内、予約業務を可能にすることで、お客さまの利便性向上を図ります。
	実施箇所: ホテルメトロポリタン池袋・ホテルメッツ渋谷、 駅レンタカー営業所 (東日本エリア) 等
	実施期間: 2018年11月下旬~2019年3月


(12) 株式会社バズヴィル (代表取締役: 吉澤 新)

	<b>「スマートフォンのロック画面と JRE POINT サービスの連携」</b>
	スマートフォンのロック画面に JRE POINT 情報を表示することで、ユーザーとの新しいコミュニケーションを可能とするアプリの開発を行います。あわせて、運行情報等もロック画面上に表示します。
	実施箇所: スマートフォンアプリでの配信
	実施時期: 2019年1月中旬~未定


(13) 株式会社はなはな (代表取締役: 清水 秀幸)

	<b>「スズメバチの仮想生息域を利用したシカ等の害獣対策」</b>
	自然界に生息する野生動物にとって、スズメバチは人間以上に深刻な脅威です。この天敵の羽音などを活用することで、鉄道事業におけるシカ対策の実証実験を行います。
	実施箇所: JR 山田線
	実施期間: 2018年11月~2019年3月


(14) ピコセラ PicoCELA株式会社 (代表取締役社長: 古川 浩)

	<b>「無線マルチホップ技術による屋外無線 LAN 環境構築」</b>
	従来設置が困難であった観光地に Wi-Fi 環境を構築し、そこから取得できる情報から、インバウンドのお客さまの行動傾向を把握します。
	実施箇所: ガーラ湯沢、八甲田山ロープウェイ山頂駅
	実施期間: 2018年12月15日~2019年3月31日


(15) 株式会社ファームステーション (代表取締役: 酒井 里奈)

	<b>「発酵技術を活用した地域循環モデルの構築」</b>
	青森駅に隣接するシードル工房「A-Factory」のりんご搾りかすを同社の技術で発酵・蒸留させ、エタノール及び発酵粕を生成します。エタノールは化粧品・雑貨等の原材料として利用し、発酵粕は家畜の飼料として提供。JR 東日本グループでの実現可能性を検証し、廃棄物ゼロの地域循環モデルの構築を目指します。
	実施箇所: 岩手県奥州市、青森県青森市 等
	実施期間: 2018年12月上旬~未定


(16) 株式会社ポケットチェンジ (代表取締役：青山 新)

	<b>「Suica と連携した地域マネー発行によるキャッシュレスな地域経済圏の実現」</b> 従来費用負担が大きかった地域マネーの発行をリーズナブルに行うことで、キャッシュレスな地域経済圏を実現します。更に地域マネーから Suica へのチャージを可能とすることで利便性を高めます。
	実施箇所：東日本エリア (調整中)
	実施期間：2019 年 1 月中旬 (予定)

(17) メトロエンジン株式会社 (代表取締役 CEO：田中 良介)

	<b>「AI を活用した駅や新幹線の流動予測」</b> JR 東日本グループが保有するデータや外部公開されているビッグデータを独自のアルゴリズムで分析することで、新幹線の混雑予測や、イベント時等における駅の流動予測を行います。
	実施箇所：STARTUP_STATION、東北新幹線、さいたま新都心駅
	実施期間：2018 年 12 月 3 日～2019 年 2 月 28 日

(18) <sup>モーションロフト</sup> Motionloft, Inc. (CEO：Joyce Reitman)

海外 	<b>「AI カメラを活用した流動調査と広告媒体の認知率調査」</b> AI カメラを活用し、駅構内にてお客さまの流動分析と広告媒体の認知率調査を行うことで、広告価値の最大化を目指します。
	実施箇所：STARTUP_STATION
	実施期間：2018 年 12 月 3 日～未定

**「インキュベーションコース」採択企業と提案の詳細**

提案者名	提案内容
<sup>サーク</sup> 株式会社SIRC (代表取締役：平澤 大)	<b>「SIRC デバイスの鉄道業界への活用検討」</b> 小型計測器を活用した鉄道設備の遠隔監視による業務効率化を提案します。
<sup>アンシオン</sup> 株式会社ANSeeN (代表取締役：小池 昭史)	<b>「新幹線自動改札での手荷物検査装置」</b> 高解像度・高感度 X 線イメージセンサを活用した手荷物検査を実現することによる安全対策について提案します。
<sup>アントティアーズ</sup> Ant's tears (代表：池上 慧)	<b>「お客さま投票システムによる混雑緩和の提案」</b> WEB やアプリを活用した新しい投票システムにより、分散乗車を促すことによる満員電車の改善について提案します。
富士の海老株式会社 (取締役：横山 和幸)	<b>「閉鎖型陸上養殖のバナメイエビで安心、安全な食の提供」</b> 陸上でのバナメイエビの養殖による安心安全な食材の提供と、養殖を通じた地域の活性化について提案します。
<sup>トゥービー</sup> 学生団体 TOBE (代表：木下 大輔)	<b>「車いす利用者と介助者をつなぐ互助システム」</b> 車いす利用者と介助者の助け合いを可能にする互助システムについて提案します。